

D I A M中国関連株オープン

<愛称：チャイニーズ・エンジェル>

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じて、中国株および中国関連株に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年10月31日～2020年10月30日

第17期	決算日：2020年10月30日	
第17期末 (2020年10月30日)	基準価額	28,820円
	純資産総額	3,709百万円
第17期	騰落率	34.0%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

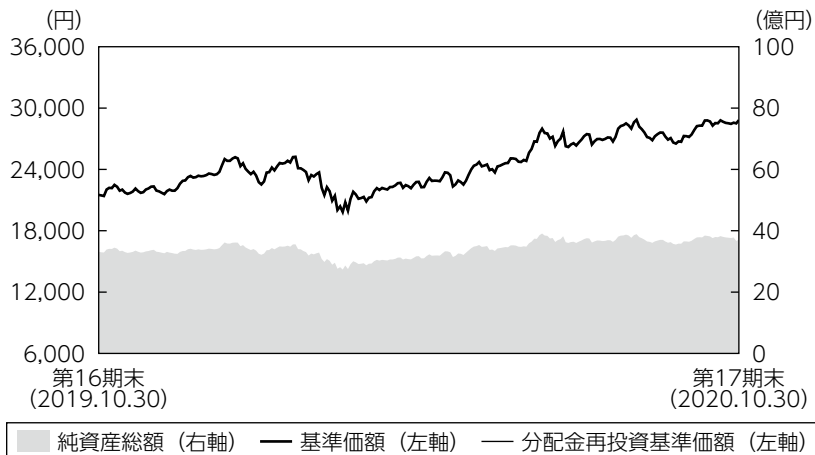
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第17期首： 21,503円
 第17期末： 28,820円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 34.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

期中の中国・香港市場全体は軟調な展開でしたが、保有しているEコマース、教育サービス等の消費関連、酒類やミルク等の生活必需品、半導体やスマートフォンなどのテクノロジー関連、バイオや医薬品製造、眼科サービス運営会社などのヘルスケア関連銘柄等、消費のアップグレード等の構造的な変化や新型コロナウイルス感染拡大後の「新しい生活様式」への変化から恩恵を受けた多くの銘柄が力強い上昇を見せたことで、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第17期		項目の概要
	(2019年10月31日 ～2020年10月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	431円	1.760%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は24,476円です。
(投信会社)	(202)	(0.825)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(202)	(0.825)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(27)	(0.110)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	17	0.071	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(17)	(0.071)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	13	0.054	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(13)	(0.054)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	18	0.074	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(16)	(0.064)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(2)	(0.006)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	480	1.959	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

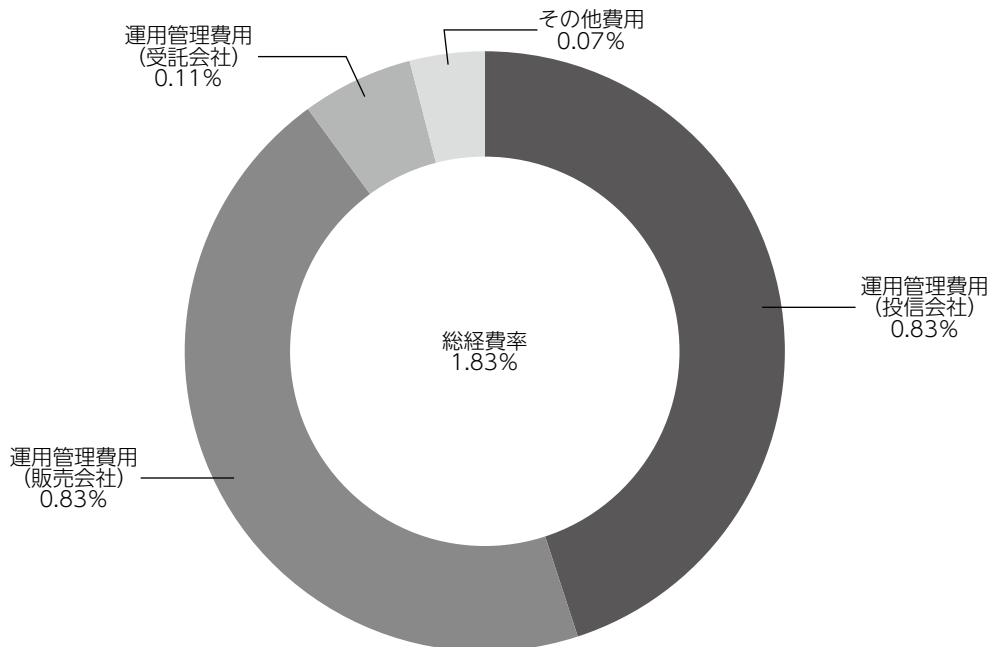
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



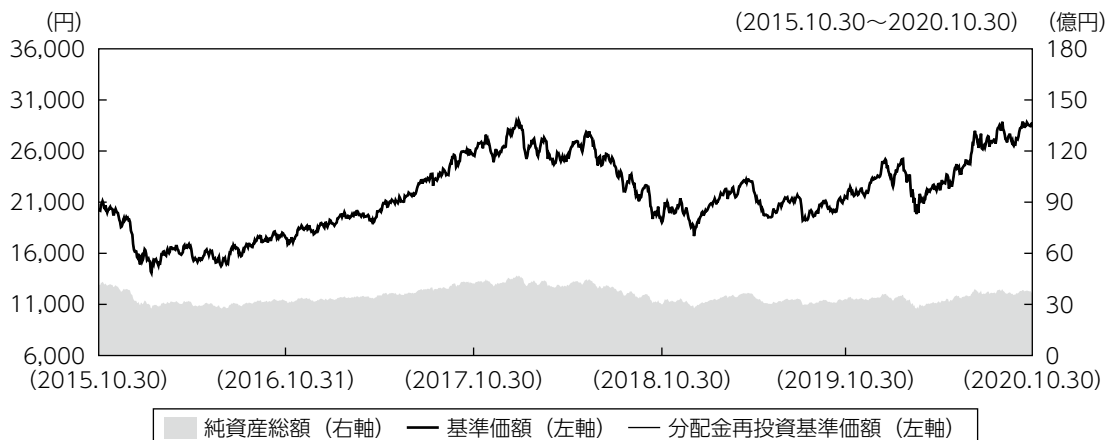
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年10月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年10月30日 期首	2016年10月31日 決算日	2017年10月30日 決算日	2018年10月30日 決算日	2019年10月30日 決算日	2020年10月30日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	20,301	17,536	25,630	19,019	21,503	28,820
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△13.6	46.2	△25.8	13.1	34.0
純資産総額 (百万円)	4,164	3,202	4,234	2,997	3,309	3,709

(注) 当ファンドは、主に「中国株」および米国、欧州等の非中国資本企業の株式（中国関連株）への投資を通じ、信託財産の長期的な成長を目指します。同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、当ファンドではベンチマークを特定していません。

投資環境

期中の中国・香港市場は下落しました。期初は中国政府による金融緩和や経済対策等による景気回復への期待に加え、米中貿易協定の「第一段階の合意」への期待、米中関係の改善期待等から上昇しました。しかし、2020年になり新型コロナウイルスの感染が中国国内で拡大したこと、さらに3月から4月にかけて世界中に感染が拡大したことでグローバルで株式市場が急落したこと等から、中国・香港市場も大きく値を下げました。しかし、中国国内では徹底した感染対策に加え、金融・財政両面からの大規模な経済対策を実施し、株式市場は反発しました。その後は、グローバルな株式市場との連動性を高める形で上昇基調を辿りました。期の下旬に入った頃から、米中対立の激化、香港情勢の緊迫化、アジア域内や欧米諸国での経済再開状況や新規感染者の増減、テクノロジー関連株の調整等のニュースフローに反応する形で、一進一退の展開が続きました。期の前半までの上昇を取り戻すには至らず、下落して期を終えました。

為替市場では、対米ドル、対香港ドルで円高が進みました。期初は世界的な景気回復、株式市場の上昇で緩やかな円安が進行しました。期の中旬に入り新型コロナウイルスの感染が拡大し世界中の各都市が都市封鎖や移動制限を導入する中で、急速に円高が進みましたが、すぐに反発するなど乱高下する局面がありました。期の後半にはFRB（米連邦準備理事会）をはじめ、世界中の金融当局が利下げや金融緩和を行う中で、緩やかな円高基調となりました。期末には、欧米諸国等で再び感染者が増加したことで、株式市場が調整する中で円高が進み、期を終えました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

主要投資対象はD I AM中国関連株オープン・マザーファンドであり、マザーファンドの組入比率は期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●D I AM中国関連株オープン・マザーファンド

銘柄選択については、次世代の中国経済の成長を担っていくと思われるテクノロジー、インターネット、ヘルスケアといったセクターに注目し、好業績銘柄への重点投資を継続しました。また、消費のアップグレードのトレンドなどから恩恵を受ける消費関連銘柄や、スマートフォンや5G関連で恩恵を受けられると思われる台湾の銘柄にも投資を行いました。

【D I AM中国関連株オープン・マザーファンドの運用状況】

○組入上位10業種

No.	業種	比率
1	小売	28.0%
2	メディア・娯楽	18.7
3	消費者サービス	6.7
4	銀行	6.0
5	保険	5.6
6	食品・飲料・タバコ	4.7
7	耐久消費財・アパレル	4.4
8	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.2
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.1
10	不動産	3.4

※1 比率は純資産総額に対する割合です。

※2 業種は決算日時点でのGICS（世界産業分類基準）によるものです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年10月31日 ～2020年10月30日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	26,196円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I A M中国関連株オープン・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

●D I A M中国関連株オープン・マザーファンド

新型コロナウイルスの感染拡大は中国経済や世界経済に深刻な影響をもたらしており、欧米諸国やアジア諸国でも感染拡大が収まりを見せていませんが、中国に関してはいち早く抑制に成功したことで、世界に先駆けて経済指標も製造業、小売業ともに正常に戻りつつあり、今後の更なる回復が期待されます。そうした中、都市化、消費のアップグレード、ヘルスケア需要の高まりといった構造的な変化は、景気の変動をよそに今後も長期的に続いていくものと思われ、次世代の中国経済を牽引していくと思われる個人消費関連、テクノロジー、インターネット、ヘルスケアなどの産業に引き続き注目していきます。一方、米中関係の動向や香港情勢、世界の新型コロナウイルスの感染状況と各国の景気動向等、中国を取り巻く環境が厳しさを増しているのも事実です。当ファンドでは、こうしたリスクを注視しつつ、今後も中国経済の大きなトレンドをしっかりと見据え、将来有望な企業に積極的に投資していきます。

お知らせ

■組入マザーファンドにおける投資助言契約終了に伴い、約款に所要の変更を行いました。
(2020年3月17日)

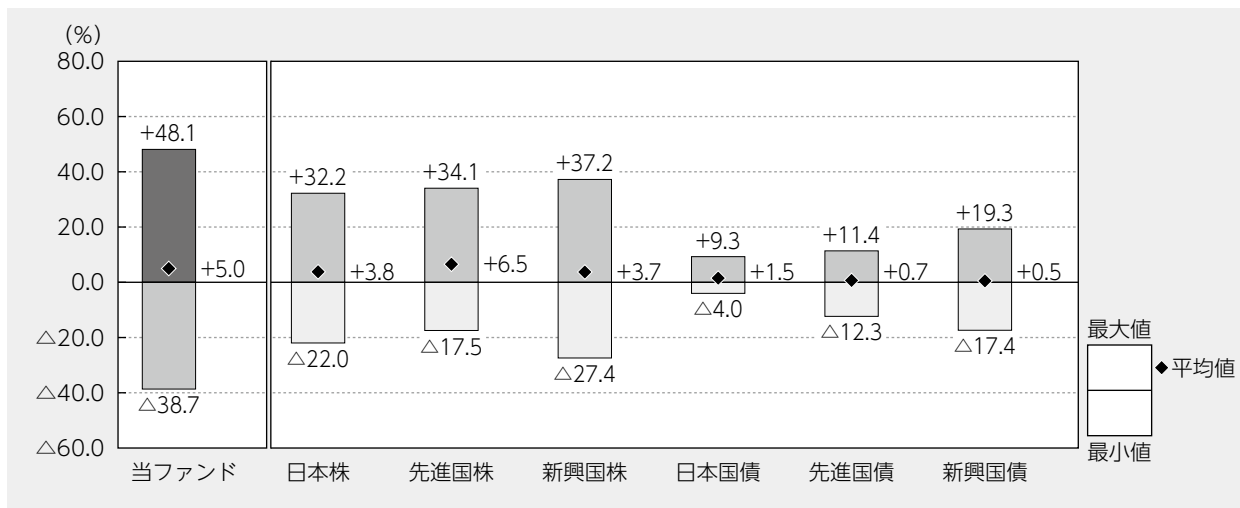
■当ファンドが投資対象とする「D I AM中国関連株オープン・マザーファンド」において、Asset Management One Singapore Pte. Ltd.との投資助言契約終了に伴い、約款に所要の変更を行いました。

(D I AM中国関連株オープン・マザーファンド：2020年3月17日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2003年10月30日から2023年10月30日までです。	
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	D I AM中国関連株オープン	D I AM中国関連株オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I AM中国関連株オープン・マザーファンド	中国企業群の株式および中国関連株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>実質組入外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。</p> <p>D I AM中国関連株オープン・マザーファンドでの株式への投資にあたっては、香港株式市場、中国B株市場、ニューヨーク市場およびシンガポール市場等に上場する中国籍企業の株式、香港のレッドチップ銘柄等の「中国企業群の株式」に加え、香港、台湾の大中華圏、東南アジア、韓国等のアジア諸国及び米国、欧州等の上場企業の中の「中国関連株式」にも投資を行うことを基本とします。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として10月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子、配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年11月～2020年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年10月30日現在）

◆組入ファンド等

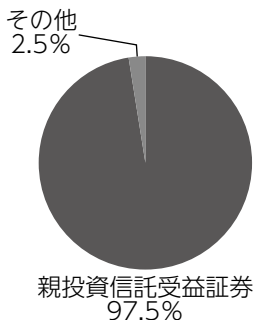
（組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2020年10月30日
D I AM中国関連株オープン・マザーファンド	97.5%
その他	2.5

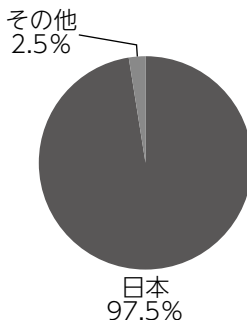
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

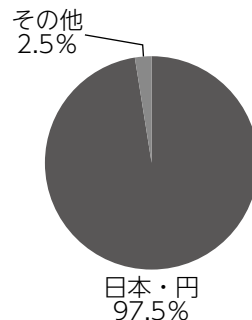
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	当期末
	2020年10月30日
純資産総額	3,709,553,996円
受益権総口数	1,287,154,924口
1万口当たり基準価額	28,820円

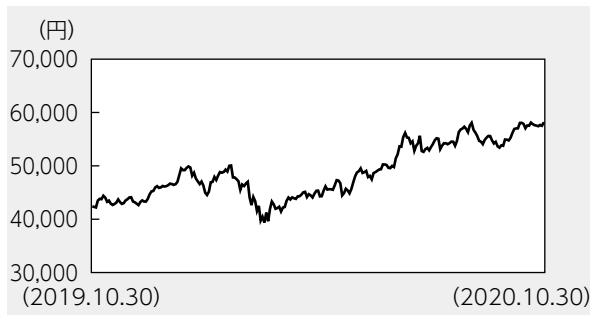
（注）当期中における追加設定元本額は162,953,290円、同解約元本額は414,916,527円です。

組入ファンドの概要

[D I AM中国関連株オープン・マザーファンド]

(計算期間 2019年10月31日～2020年10月30日)

◆基準価額の推移



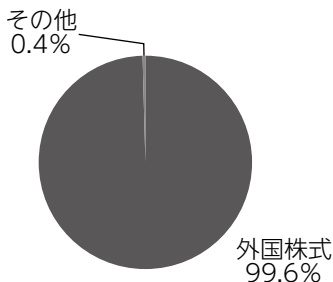
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	アメリカ・ドル	19.4%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	17.3
MEITUAN	香港・ドル	5.5
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港・ドル	4.0
NEW ORIENTAL EDUCATION & TECH	アメリカ・ドル	2.8
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP HOLDINGS LTD	香港・ドル	2.8
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	2.5
CHINA MERCHANTS BANK CO LTD	香港・ドル	2.1
CHINA RESOURCES BEER HOLDINGS	香港・ドル	2.1
TAL EDUCATION GROUP-ADR	アメリカ・ドル	2.0
組入銘柄数		49銘柄

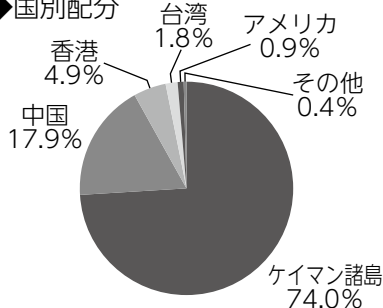
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	35円 (35)	0.072% (0.072)
(b) 有価証券取引税 (株式)	27 (27)	0.055 (0.055)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	35 (32) (3)	0.071 (0.065) (0.006)
合計	97	0.198

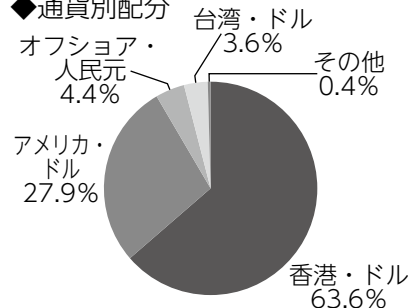
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(48,845円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。